

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、このたび、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内させていただきますので、ご利用のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

- 胃がんリスク層別化検査（ABC分類）〔LA法〕 項目コード：1496
- 胃がんリスク層別化検査（ABC分類）（除菌歴あり）〔LA法〕 項目コード：1482

### 受託開始日

2021年 4月1日（水）受付分より新規受託開始

※ 詳細につきましては、次ページ以降の内容をご参照願います。



保健科学研究所	〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町106	TEL.045-333-1661
保健科学東日本	〒365-8585 埼玉県鴻巣市天神3-673	TEL.048-543-4000
保健科学西日本	〒612-8486 京都府京都市伏見区羽束師古川町328	TEL.075-933-6060
保健科学東京	〒160-0001 東京都新宿区片町3-3	TEL.03-3357-3611
保健科学新潟	〒950-0054 新潟県新潟市東区秋葉1-6-31	TEL.025-275-0161

【受託要項】

項目コード	検査項目 JLAC10	検体 必要量 (mL)	容器 保存方法	検査方法	基準値	所要 日数	備考
1496	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類) [LA法] 3B347-0000-023-920	血清 0.7	A1-1 冷蔵	ペプシノゲン I・II (PG I・II)ラテックス凝集比濁法  ヘリコバクター・ピロリ抗体／国内株:ラテックス凝集比濁法	(陽性判定基準) ・ペプシノゲン:P GI値が70.0 ng/mL以下且つ PG I / II比が 3.0以下 ・H.ピロリ抗体: 10.0U/mL以上  表1参照	3~5日	[ピロリ菌の除菌治療前] ペプシノゲン・H.ピロリ抗体の検査結果とABC分類(A~D群)をご報告致します。
1482	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類)(除菌歴あり) [LA法] 3B347-0000-023-920						[ピロリ菌の除菌治療後] 除菌治療を受けた方は、除菌判定結果に関わらず、E群(除菌群)としてご報告いたします。

(表1)胃がんリスク層別化検査(ABC分類)[LA法]の基準

		H.ピロリ抗体検査[4921]	
		10.0 U/mL 未満	10.0 U/mL 以上
		(-)	(+)
ペプシノゲン検査 [4675]	(-)	A群	B群
	(+)	D群	C群

【備考】

◇胃がんリスク層別化(ABC分類)[LA法]について

既存の胃がんリスク層別化検査(ABC分類)で検査しているヘリコバクター・ピロリ抗体(ヘリコバクター・ピロリIgG抗体／国内株)につきましては、現感染や既感染が混在する陰性高値が問題とされておりました。本検査は、その従来からの問題点を無視できるとして認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構で推奨されている試薬を使用する、より精度の高い検査です。

(使用試薬:H.ピロリ-ラテックス「生研」)

▼検査方法参考文献

・乾 正幸, 他: 日本ヘリコバクター学会誌 19(1):33~42,2017